

工事名称： 長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（ 期）改修機械設備工事

設計図書・参考数量に対する変更一覧（追加指示書）

令和7年7月22日

設計図書・参考数量に対する変更一覧（追加指示書）

長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（期）改修機械設備工事

N o	図面番号	指 示 事 項
1	特M-1、特M-2	図面朱書き部分を変更する。
2	M-05	ドレン配管を追記する。 既存3系統の冷媒管を改修対象外に変更する。
3	M-09、10、11	記号をEF→FEに変更する。 FE-1、FE-2の排風機スイッチは電気設備工事とする。
4	M-10	資料室2のダクトルートを変更する。
5	M-11	倉庫・廊下の排気グリルをスリット、BOXに変更する。
6	M-13	X5～/Y8-9の第1桟ルート、桟番号を変更する。 L-5 水栓を混合栓に変更する。 HB1A 火災報知器は電気設備工事とする。
7	M-20	X1通りの穴埋め記号を削除する。
8	参考数量	上記変更一覧及び質疑事項回答書、図面との整合性を踏まえ、参考数量表を全て差し替える。

長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（Ⅰ期）改修機械設備工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 新潟県長岡市上富岡町1603-1(長岡技術科学大学構内)

2. 完成期限 令和8年 3月 19日(木)

3. 建物概要

建 物 名 称	図書館
工 種	改修
構 造	鉄筋コンクリート造
階 数	地上 3 階建
建築基準法による	建築面積 (㎡) 1,254 延べ面積 (㎡) 3,147
消防法施行令別表第一の区分	7 項
改修面積 (㎡)	2,071 (1、2階)
備 考	

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外	工 事 種 目	工 種	別
	●空気調和設備	1式	
	●換気設備	1式	
	○排煙設備		
	●自動制御設備	1式	
	●衛生器具設備	1式	
	●給水設備	1式	
	●排水設備	1式	1式
	●給湯設備	1式	
	●消火設備	1式	
	○消雪設備		
	●撤去工事	1式	1式

5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分（指定部分工期 年 月 日）

6. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日（ 曜 日）
（第1編1.1.2）【第1編1.1.2】

7. 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設 備 概 要
空調方式 主要熱源機器	● ガスヒートポンプパッケージ ○
自動制御方式	○電気式 ●電子式 ○デジタル式
給水方式	○高置タンク方式 ○
排水方式	建物内の汚水と雑排水（●合流式 ○分流式） ポンプ排水 ○有（○汚物 ○雑排水 ○湧水） ●無 排水槽 ○有（計画容量 m3） ●無 建物外放流先 （1）汚 水 ●直放流下水管 （2）雑排水●直放流下水管
消火設備の種類	●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○（ ）
ガスの種類	●都市ガス（種別13A、高位発熱量、低位発熱量供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名 北陸瓦斯（株）） ○液化石油ガス

※改修の場合は既存概要を示す

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 2.9 枚及び本特記仕様書 3 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。

● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)

● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)

● 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)

● 文部科学省機械設備工事標準図(特記基準)(平成31年版)(以下「文科標準図」という。)

● 工事写真撮影要領(令和5年9月)

（2）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、建築工事の特記仕様書は（ ）図、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

2）項目に記載の（第 編 . . . ）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。

3）項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。

4）項目に記載の＜第 編 . . . ＞内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

章 項 目 特 記 事 項

● 一 般 共 通 事 項

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速 (Vo= m/s)
地表面粗度区分（ ）
○積雪荷重
建設告示第1455号における区域 別表（ ）
この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	●
4. 旧電気工事技術者検定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者	●
5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者	●
6. 第1種電気工事士の資格を有する者	●
7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8. 第2種電気工事士の資格を有する者	○
9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

●電気保安技術者
（第1編1.3.2）
〔第1編1.3.2〕

● 環境への配慮
（第1編1.4.1）
〔第1編1.4.1〕

● 機材の品質等
（第1編1.4.2）
〔第1編1.4.2〕

○ 施工条件
（第1編1.3.3）
〔第1編1.3.3〕

この工事現場では、次の施工条件による

1）著しい騒音が発生する作業を行う場合は事前に監督職員と協議すること。

2）学内行事等のため、工事作業を制限する場合がある。

3）令和7年11月15日（土）、令和8年1月17日（土）～令和8年1月18日（日）、令和8年2月25日（水）は、入試のため作業は行わないこと。

4）令和7年9月13日（土）～令和8年9月14日（日）は、技大祭のため作業は行わないこと。

5）大学敷地内は、屋外屋内又は車内問わず全面喫煙禁止である。

6）工事用地内の除雪は、受注者が行うこと。

7）今回工事は執務並行改修である。

● 完成時の提出図書
（第1編1.7.1～5）
〔第1編1.8.1～6〕

○ 石綿含有材料の事前調査
〔第1編4.1.2〕

● 他工事又は他工種との取り合い

● 電動機
（第2編1.2.1）
〔第2編1.2.1〕

● 電源周波数

● 容量等の表示

● 総合試運転調整
（第2編1.3.1～3）
〔第2編1.3.1～3〕

● 足場その他
（第2編4.1.1）
〔第1編2.2.1〕

●機材の検査等・機材の検査に伴う試験

（第1編1.4.5～6）
〔第1編1.4.5～6〕

●施工調査
〔第1編1.5.1～3〕

●技能士
（第1編1.5.2）
〔第1編1.6.2〕

●施工の検査等・検査に伴う試験・立会い等
（第1編1.5.4～6）
〔第1編1.6.5～7〕

●技術検査
（第1編1.6.2）
〔第1編1.7.2〕

●完成時の提出図書
（第1編1.7.1～5）
〔第1編1.8.1～6〕

○石綿含有材料の事前調査
〔第1編4.1.2〕

●他工事又は他工種との取り合い

●電動機
（第2編1.2.1）
〔第2編1.2.1〕

●電源周波数

●容量等の表示

●総合試運転調整
（第2編1.3.1～3）
〔第2編1.3.1～3〕

●足場その他
（第2編4.1.1）
〔第1編2.2.1〕

監督職員が行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機 材 名	検 査 試 験	備 考
ガスヒートポンプエアコン	● ○	
全熱交換器	● ○	
換気扇	● ○	
排風機	● ○	

事前調査 ●本工事 ○別途
調査内容 ●既存資料調査
調査項目 ○図示
調査範囲 ○図示
調査方法 ○図示

下記の職種及び作業に適用する。

事前調査追加

施工調査・技能士・
施工検査・技術検査追加

下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施 工 部 分	検 査 立 会 試 験	備 考
	○ ○ ○	
	○ ○ ○	
	○ ○ ○	

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称	体 裁 等
● 完 成 図	CADデータ（電子納品）及び電子データ
○ "	原図 ○A1版（ 部） ○A3版（ 部）
○ "	複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 部）
● "	複写図 仮製本 ●A1版（ 1 部） ●A3版（ 2 部）
● 保全に関する資料	●紙媒体（ 2 部） ○電子データ
● 工 事 写 真	●紙媒体（ 1 部） ●電子データ

※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。
電子納品は次による。

（1）貸与する設計図CADデータの著作権者：
ファイル形式：
貸与条件：貸与するCADデータを本工事ににおける施工図又は完成図以外に使用しないこと。

（2）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

（3）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。

（4）提出方法及びファイル形式は以下による。
CADデータ：JWW、DXF及びPDF
提出方法：CD又はDVDに保存し、 部提出する。

工事着手前に立立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有材料の事前調査を行う。

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

●50Hz ○60Hz

（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

●本工事 ○別途
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
●風量調整 ○水量調整 ●室内外空気の温度の測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ●飲料水の水质の測定
○雑用水の水质の測定
○

●別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○本工事で設置する。（ 図参照）
○内部足場（○ 種 ○ 種）○外部足場（○ 種 ○ 種）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

●埋め戻し土・盛土
（第2編4.2.1）
〔第2編7.1.1〕

●建設発生土の処理方法
（第2編4.2.1）
〔第2編7.1.1〕

●耐震措置

●配管
（第2編第2章）
〔第2編第2章〕
＜第2編1.1.1＞
＜第2編2.1.1＞

●地中埋設標等
（第2編2.7.1～3）

○絶縁継手
（第2編2.2.12）
〔第2編2.1.1〕

●試験
（第2編2.9.1～5）
〔第2編2.7.1～5〕

●保温
（第2編3.1.1～6）
〔第2編3.1.1～3〕

●塗装
（第2編3.2.1）
〔第2編3.2.1〕

●電線類
（第2編4.7.1）

●既存躯体への穿孔
〔第2編5.2.1〕

●根切り土の良質土 ●山砂の類
以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。
● 屋外排水管
● 屋外ガス配管
○
○構内敷きならしとする。 ●構外に搬出し、適切に処分する。

設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。

（1）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数 ____及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度					
	機器種別	●特定の施設		○一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とする。

（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
●呼び径60S u以下（●SAS322を満足した継手 ○ ）
（2）溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要（ ）

図示の位置に取り付ける。

既設配管を含む部分の試験○要（方法及び圧力： ）
○不要

試験追加

標準仕様書第2編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
○多湿箇所は下記による。
室名：
○共同構内の保温種別は下記による。
ダクト： 配管：

次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。
○屋外：○ドレン管（○指定色塗装 ○ ）
○金属電線管（○溶融亜鉛メッキ仕上げ〔付着量300g/㎡以上〕
○指定色塗装）
○屋内：○金属電線管（○溶融亜鉛メッキ仕上げ ○指定色塗装）

塗装・電線類追加

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
●走査式埋設物調査 ○放射線透過検査

Notices

Client 国立大学法人長岡技術科学大学 施設課

Construction Name. 長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（Ⅰ期）改修機械設備工事

Drawing Name. 特記仕様書（Ⅰ）

Project No. 2025_DCS24-JSCNME

File Name.

Scale N. S.

Date 2025. 06

SHIBATA Architect and Associates

株式会社 シンバタ 建築設計事務所
富山県小矢部市泉町7-30
TEL 0766(68)1177 / FAX 0766(68)1321
管理建築士 第 21408121601014 号
一級建築士 大臣登録 第 344849 号
https://shibata-and-associates.com/ 柴田 昭浩

Drawer 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩

Drawing No. 特M-01

●空調設備	●設計温度	<table><tr><th colspan="4">外 気</th><th colspan="4">屋 内</th></tr><tr><th colspan="2">一般系統</th><th colspan="2">一般系統</th><th colspan="2">個別系統(目標値)</th><th colspan="2">個別系統(目標値)</th></tr><tr><th>温度</th><th>湿度</th><th>温度</th><th>湿度</th><th>温度</th><th>湿度</th><th>温度</th><th>湿度</th></tr><tr><td>夏季</td><td>34.3℃</td><td>58%</td><td>26℃</td><td>実行</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬季</td><td>-1.4℃</td><td>78%</td><td>22℃</td><td>実行</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>	外 気				屋 内				一般系統		一般系統		個別系統(目標値)		個別系統(目標値)		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	夏季	34.3℃	58%	26℃	実行	℃	%	℃	%	冬季	-1.4℃	78%	22℃	実行	℃	%	℃	%	○排煙設備	○ダクト (第3編1.14.1) [第3編1.2.1] ○排煙口の形式 ○排煙口開放及び復帰方式 ○排煙風量測定	○亜鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm) ○パネル形(○天井取付 ○壁取付) ○スリット形(○天井取付 ○壁取付) ○ダンパ形(○天井内取付 ○) ○電気式(遠隔操作 ○要 ○不要) 排煙口から手動解放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書 2016年版((一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。	●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1] <第2編2.1.1> ●台所流し等の排水管 ○満水試験継手 ○放流納付金等	配管材料は(●下記による。 ○図示による。) (1) 屋内 ● 耐火二層管(VF) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) (ビット) ● 耐火二層管(VP) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) (ビット) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VU) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VU) 図示の位置に取り付ける。 ○要(本工事() ○別途) ○不要	○特殊ガス等設備工事	○一般事項 <第5編1.1.1 ~2> ○機 材 <第5編2.1.1 ~2.4.3> ○施 工 <第5編3.1.1 ~3.2.8>	1) ガスの種別は、下記による。 ○窒素ガス(○高純度 ○一般) ○ヘリウムガス(○高純度 ○一般) ○水素ガス(○高純度 ○一般) ○酸素ガス(一般) ○アルゴンガス(○高純度 ○一般) ○炭酸ガス(一般) ○圧縮空気(○高純度 ○一般) ○圧縮空気(空気圧縮機)
	外 気				屋 内																																															
	一般系統		一般系統		個別系統(目標値)		個別系統(目標値)																																													
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																												
夏季	34.3℃	58%	26℃	実行	℃	%	℃	%																																												
冬季	-1.4℃	78%	22℃	実行	℃	%	℃	%																																												
○鋼板製煙道 (第3編1.1.3) [第3編1.1.1] ●ダクト (第3編1.14.1 ~3) [第3編1.2.1] ●チャンバー (第3編1.14.4) [第3編3.1.2.1] ●ダンパー (第3編1.15.6 ~14) [第3編1.3.1] ●配管材料 (第2編2.1.1 ~2) [第2編2.1.1] <第2編2.1.1> ○弁類 (第2編2.2.1 ~6) [第2編2.1.1] ●保温及び消音内貼 (第2編3.1.1 ~2) [第2編3.1.1] [第2編3.1.3]	●低圧ダクト(●コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ○スパイラルダクト(○低圧 ○) ○高圧1ダクト(範囲は図示による。) ○塩ビライニング鋼板製ダクト(実験排気系統) ●フレキシブルダクト(断熱材付) (1)内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)空調機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンバーは雨水の滞留のないように施工する。 (1) 防煙ダンパー 復帰方式 遠隔復帰式(定格入力DC24V) (2) ピストンダンパー 復帰方式 遠隔式 配管材料は(●下記による。 ○図示による。) (1) 蒸気管 給気管 ○ 還管 ○ (2) 油管 ○ (3) 冷温水管 ○ (4) 冷却水管 ○ (5) ドレン管 ● 結露防止層付硬質塩ビ管(屋外・ビット以外) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(屋外・ビット内) (6) 冷媒管 ● 冷媒用被覆断熱銅管 ○図面に特記なき場合の耐圧は、JIS又はJVS Kとする。 ○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ○ファンコイルユニットと冷温水管の接続部(往・還)には、ボール弁を取付ける。 ○ 標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。 ○蒸気配管の保温(保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ○外気ダクトの保温(保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ○膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ○建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。(エア抜き管以降の配管は除く。) ○暗渠内(ビット内を含む)の空調用ドレン管は保温(○有 ○無)とする。 ●冷媒管の保温外装は次による。 ○図示による ●屋内露出箇所 (○キャンバステープ巻 ●樹脂製ケース) ●屋外露出箇所 (●ステンレスラッキング ●樹脂製ケース)	○自動洗浄装置及びその組み込み小使 ●自動水栓の電源種別 (第5編1.1.7) [第5編1.1.1] ○衛生器具ユニット (第5編1.1.3) [第5編1.1.1] ●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1] ●量水器 (第2編2.1.6) [第2編2.1.1] ○量水器樹 (第5編1.8.4) [第5編1.1.1] ●弁類 (第2編2.2.1 ~6) [第2編2.2.1] ○水栓柱 (第2編2.2.23) [第2編2.1.1] ○管の地中埋設深さ (第2編2.7.2) [第2編2.5.2] ○建築物導入部 ○引込納付金等	○個別感知フラッシュ方式(○AC電源 ○自己発電) ●AC電源 ○自己発電 ○ 別図による。	●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1] ○弁類 (第2編2.2.1 ~6) [第2編2.2.1] ○保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3] ●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1] ●屋内消火栓種別 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1] ●屋内消火栓閉閉弁 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1] ○地中埋設配管の接合 ○保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3] ○不活性ガス消火設備 (第5編1.5.6) [第5編1.2.2] ○泡消火設備 (第5編1.5.8)	配管材料は(●下記による。 ○図示による。) (1) 屋内消火栓 一般配管 ● 配管用炭素鋼鋼管(白) 地中配管 ○ (2) 屋外消火栓 一般配管 ○ 地中配管 ○ (3) ○広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ○1号消火栓 ○2号消火栓 ●10K 外面被覆鋼管の呼び径100A以下はねじ接合とする。 ○屋外露出部分 ○有(○e2・(h)・Ⅶ ○) ○無 別図による。 別図による。	○雨水利用設備	○システム構成その他 ○配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1] ○量水器 (第2編2.1.6) [第2編2.1.1] ○弁類 (第5編1.9.1) [第5編1.1.1]	別図による 配管材料は(●下記による。 ○図示による。) (1) 一般配管 ○ (2) 集水管 ○ ○遠隔表示式(パルス式) ○現地表示式(直読式) ○図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。																																												
●換気設備	●ダクト (第3編1.14.1 ~3) [第3編1.2.1] <第3編1.2.1 ~4> ●ダンパー (第3編1.15.6 ~14) [第3編1.3.1] ●シールする排気ダクトの系統 ●チャンバー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1] ●保温 (第2編3.1.4) [第2編3.1.3]	●低圧ダクト(●コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(●低圧 ○) ○高圧1ダクト(範囲は図示による。) ○塩ビライニング鋼板製ダクト(実験排気系統) ●フレキシブルダクト(断熱材付) 空気調和設備の当該項目による。 塩ビライニング鋼板製ダクト ● 削除 空気調和設備の当該項目による。 保温内容修正 ・外壁から全熱交換ユニット本体までのOA・EAダクトは保温を行う。 ・EAダクトは外壁から1mまで保温を行う。	○建築物導入部 ○引込納付金等	○ガス設備 ●配管材料 (第6編2.1.1) [第6編2.1.1] (第6編3.1.1) ○メーター (第6編2.1.7) [第6編2.1.1] ○ガス漏れ警報器 (第6編2.1.3) [第6編2.1.1] ○一般事項 (第11編1.1.1 ~3) ○機 材 (第11編2.1.1 ~3) ○施 工 (第11編2.2.1) ~2.3.1)	配管材料は(●下記による。 ○図示による。) ●都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 ○液化石油ガス ○親メーター(○実測式 ○パルス式) (○貸与品 ○) ○子メーター(○実測式 ○パルス式) (○買取り ○) ○本工事(図示による) ○別途工事 外部警報端子(○無 ○有) 1) ガスの種別は、下記による。 ○酸素 ○亜酸化窒素(笑気) ○治療用空気 ○二酸化炭素 ○吸引(○水封式 ○油回転式) ○麻酔ガス排除(排ガス) ○圧縮空気(○治療 ○手術機器駆動用) ○手術器械駆動用窒素	●撤去工事 ●発生材の処理等 [第11編5.1.1 ~2] 発生材の処理は、下記による。 (1) 引渡しを要するもの 1) 品 名 室外機 GHP 1.2, 4 室内機 GHP 1-1, 1-2, 1-3, 2-1, 2-2, 2-3, 4-1 2) 引渡し先 3) 集積場所 構内保管場所 4) 集積方法 (2) 特別管理産業廃棄物 1) 品 名 グラフン部、グラフン部、グラフン部、グラフン部 2) 処理方法 関係法令に基づき適切処理 (3) 現場において再利用するもの 1) 品 名 ガラリ 2) 使用場所 (4) 再生資源化するもの 1) 品 名 (5) その他の発生材 1) 品 名 冷媒ガス、衛生陶器、保温材、配管、電線管、ケーブル他 処理方法 関係法令に基づき適切処理																																														

Notices	Client	Construction Name.	Project No.	Scale	SHIBATA Architect and Associates
	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学(上富岡町) 附属図書館(Ⅰ期) 改修機械設備工事	2025_DCS24-JSCNME	N. S.	株式会社 シバタ 建築設計事務所 富山県小矢部市泉町7-30 管理建築士 第21408121601014号 TEL. 0766(68)1177 / FAX. 0766(68)1321 一般建築士 大臣登録 第344849号 https://shibata-and-associates.com/ 柴田 昭浩
	長岡技術科学大学(上富岡町) 附属図書館改修施設設計業務(建築・設備)	Drawing Name.	File Name.	Date	
		特記仕様書(2)		2025.06	

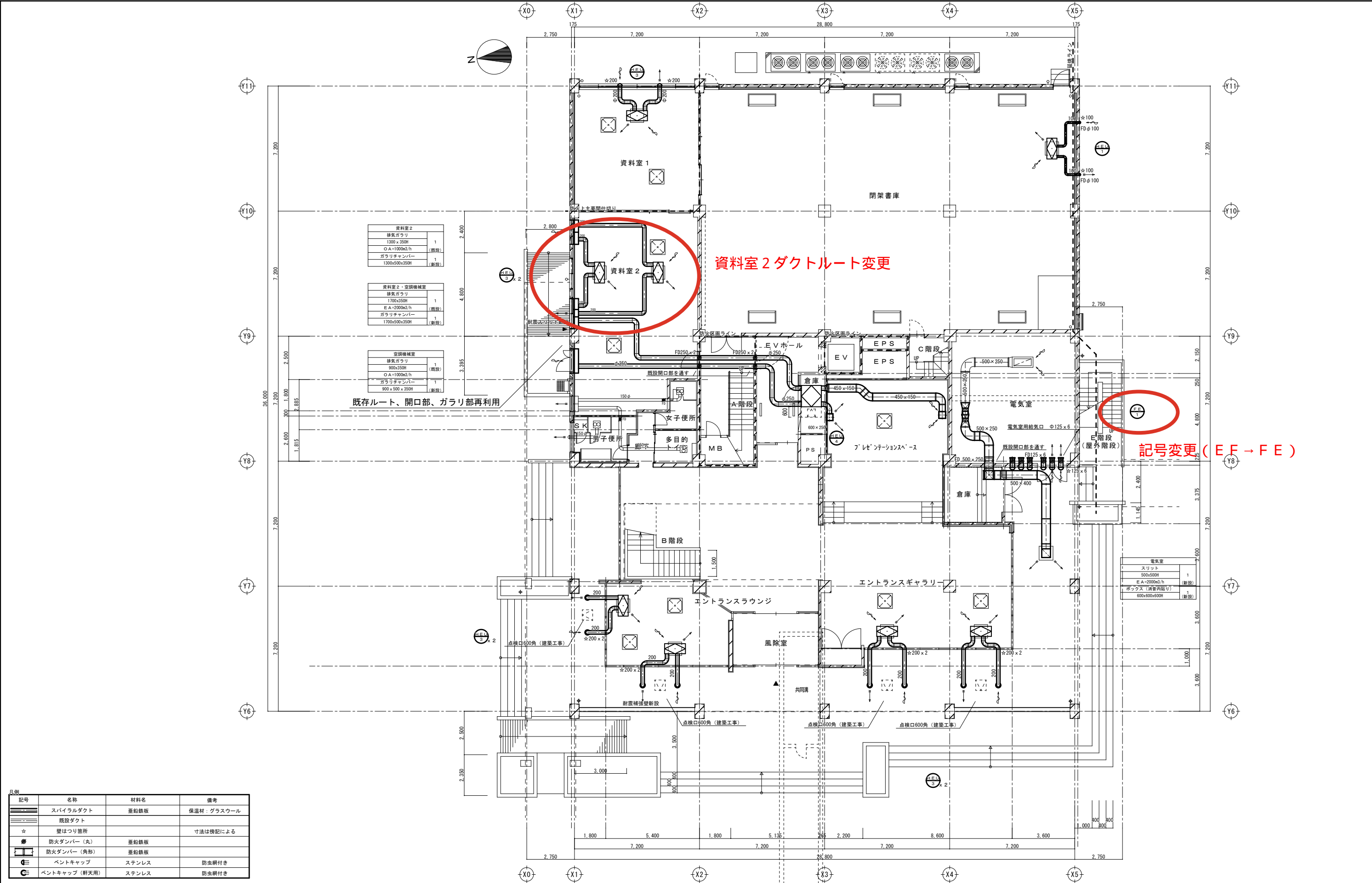
Drawer	Drawing No.
一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩	特M-02

記号	名 称	仕 様 ・ 能 力 等	台数	電源・消費電力等			備 考
				φ	V	kW	
	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	1	1	100	0.08	1階 資料室1
		能力 350CMH x 40Pa					
		付属品 リモコンスイッチ					
	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	1	1	100	0.06	2階 第3会議室
		能力 350CMH x 20Pa					
		付属品 コントロールスイッチ					
	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	1	1	100	0.08	2階 図書館会議室
		能力 350CMH x 50Pa					
		付属品 コントロールスイッチ					
	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	1	1	200	0.14	2階 館長室
		能力 350m3/h x 60Pa					
		付属品 ワイヤードリモコン					
	全熱交換ユニット	形式 壁掛形	2	1	100	0.13	2階 事務室
		能力 100CMH x 10Pa					
		付属品 コントロールスイッチ					
	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	1	1	100	0.53	2階 多目的パソコン室
		能力 1000CMH x 70Pa					
		付属品 コントロールスイッチ					
	換気扇	形式 天井埋込形（低騒音形）	2	1	100	0.01	1階 資料室2
		能力 700CMH x 40Pa					
	排風機	形式 シロッコファン（床置形）	1	3	200	1.50	1階 空調機械室
		能力 5500CMH x 280Pa					
	排風機	形式 天井埋込形（低騒音形）	1	1	100	0.02	1階 機械室
		能力 250CMH x 40Pa					
	排風機	形式 ラインファン 消音形	1	1	100	0.02	2階 倉庫
		能力 1680m3/h x 167Pa					
	排風機	形式 ラインファン 消音形	1	1	100	0.02	2階 参考図書コーナー
		能力 1700m3/h x 205Pa					

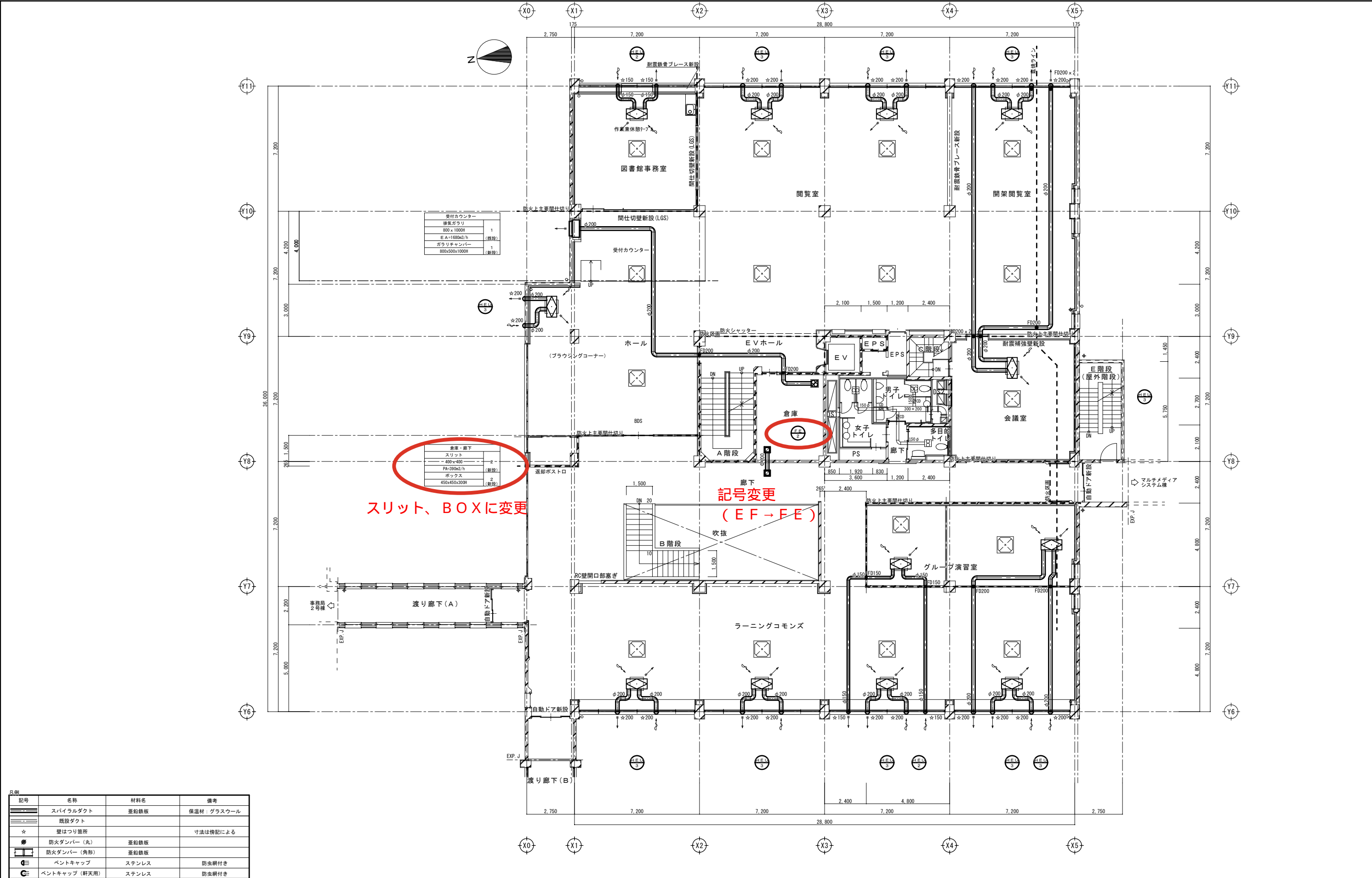
記号	名 称	仕 様 ・ 能 力 等	台 数	電源・消費電力等			備 考
				φ	V	kW	
HEU 1	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	1	1	100	0.069	1階閉架書庫
		能力 150CMH x 50Pa					
							参考型番: LGH-N15CX4
HEU 2	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	2	1	100	0.153	2階図書館事務室 クールーフ演習室小
		能力 350CMH x 40Pa					
							参考型番: LGH-N35CX4
HEU 3	全熱交換ユニット	形式 天井カセット形	17	1	100	0.195	1階資料室1 資料室2
		能力 500CMH x 70Pa					エントランスラウンジ エントランスキヤラリー
							2階閲覧室 開架閲覧室
							8-8・ブライズンクコーナー会議室
							クールーフ演習室大 ラーニングcommons 参考型番: LGH-N50CX4
HEU 4	全熱交換ユニット	形式 天井隠ぺい形	1	1	200	0.535	1階プレゼンテーションスペース(倉庫)
		能力 1000m3/h x 60Pa					
		付属品 天井埋込グリル x 2					参考型番: LGH-N100RX4
FE 1	排風機	形式 ラインファン 低騒音形	1	3	200	0.15	1階電気室
		能力 3 x 1800CMH x 50Pa					
FE 2	排風機	形式 ダクト用ファン 低騒音形	1	1	100	0.075	2階倉庫
		能力 350CMH x 90Pa					参考型番: V-202M
	リモコン	形式 全熱交換ユニット用ワイヤードリモコン	19	-	-	-	

排風機付属品削除
 (スイッチ類は電気設備工事とする)

排風機付属品削除
(スイッチ類は電気設備工事とする)



凡例	記号	名称	材料名	備考
	----	スパイラルダクト	亜鉛鉄板	保温材：グラスウール
	----	既設ダクト		
	☆	壁はつり箇所		寸法は傍記による
	■	防火ダンパー (丸)	亜鉛鉄板	
	■	防火ダンパー (角形)	亜鉛鉄板	
	☑	ペントキャップ	ステンレス	防虫網付き
	☑	ペントキャップ (軒天用)	ステンレス	防虫網付き



凡例			
記号	名称	材料名	備考
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板	保温材：グラスウール
	既設ダクト		
☆	壁はつり箇所		寸法は傍記による
	防火ダンパー (丸)	亜鉛鉄板	
	防火ダンパー (角形)	亜鉛鉄板	
	ベントキャップ	ステンレス	防虫網付き
	ベントキャップ (軒天用)	ステンレス	防虫網付き

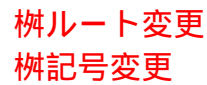
Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	Construction Name	長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館 (I期) 改修機械設備工事	Project No.	2025_DCS24-JSCNME	Scale	1/100 (A1) 1/200 (A3)	SHIBATA Architect and Associates 株式会社 シバタ 建築設計事務所 富山県小矢部市栗町 7-30 TEL. 0766 (68) 1177 / FAX. 0766 (68) 1321 管理建築士 第 21408/21601014 号 一級建築士 大臣登録第 344849 号 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭 浩	Drawing No. M-11
		長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務 (建築・設備)	Drawing Name	換気設備 2階平面図 (改修後)	File Name		Date	2025. 06		Drawer		

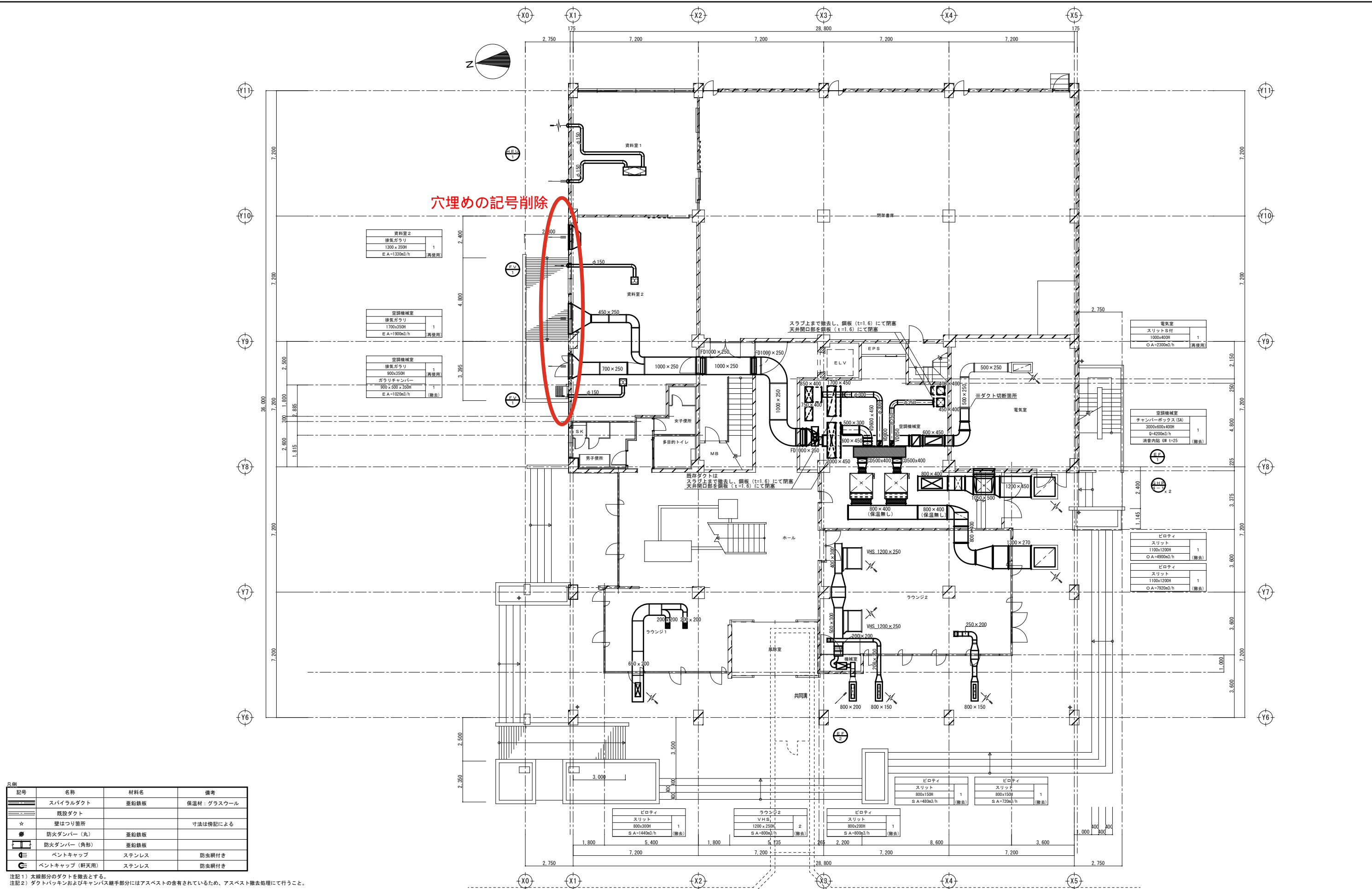
$$S=1/20$$


混合水栓に変更

火報併設の記載削除
(電気設備工事のため)

凡例		(電気設備)		
記号	名称	材料名	規格	備考
—○—	市水管	一般配管用ステンレス鋼管	J I S G 3 4 4 8	保温材：グラスウール
—●—	井水管	一般配管用ステンレス鋼管	J I S G 3 4 4 8	保温材：なし
—□—	雑排水管	配管用炭素鋼管(白) (既設) 耐火二層管 (新設・屋内) 硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外・地中)	J I S G 3 4 5 2 J I S K 6 7 4 1 J I S K 6 7 4 1	
—→—	汚水管	配管用炭素鋼管(白) (既設) 耐火二層管 (新設・屋内) 硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外・地中)	J I S G 3 4 5 2 J I S K 6 7 4 1 J I S K 6 7 4 1	
—X—	消火管	配管用炭素鋼管(白)	J I S G 3 4 5 4	
X	配管撤去			
	撤去機器等			

M-13



凡例	記号	名称	材料名	備考
		スパイラルダクト	亜鉛鉄板	保温材：グラスウール
		既設ダクト		
	☆	壁はつり箇所		寸法は傍記による
		防火ダンパー (丸)	亜鉛鉄板	
		防火ダンパー (角形)	亜鉛鉄板	
		ベントキャップ	ステンレス	防虫網付き
		ベントキャップ (軒天用)	ステンレス	防虫網付き

注記 1) 太線部分のダクトを撤去とする。
注記 2) ダクトパッキンおよびキャンパス継手部分にはアスベストの含有されているため、アスベスト撤去処理にて行うこと。

Notices	Client	Construction Name	Project No.	Scale	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ 建築設計事務所	Drawer	Drawing No.
	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館 (I 期) 改修機械設備工事	2025_DCS24-JSCNME	1/100 (A1) 1/200 (A3)		富山県小矢部市東町 7-3-0 TEL 0766 (68) 1177 FAX 0766 (68) 1321 https://shibata-and-associates.com/	一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭 浩	M-20
	長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務 (建築・設備)	Drawing Name	File Name	Date			Drawer	
		換気設備 -- 1 階平面図 (改修前)		2025. 06			管理建築士 第 21408121601014 号 一級建築士 大臣登録第 344849 号 柴田 昭 浩	